

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山東高等学校

学校番号(20)

評価実施日	令和4年2月9日(水)		
委員	氏名	所属等	備考
	大西 正氣	松山市東雲公民館長	
	井門 照雄	元愛媛県PTA連合会会長	
	井手 一隆	株式会社「イデコックス」代表取締役	
	井上 敏憲	四国地区国立大学連合アドミッションセンター長	
	葛原 健二	愛媛県庁	
	林 尚文	PTA顧問	
	山田 学	松山市立道後中学校	
	岡本 千津	八雲保育園	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>学習指導について 自己評価について、平均8.9ポイントと授業に集中していると考えられる高ポイントであるが、数学7.6ポイント、理科7.8ポイントと理系科目のポイントが低い。もう少し上げていく必要があるのではないかと。 令和2年度と比べると各学年とも家庭学習時間が大幅に減少しているのが気になる。</p> <p>進路指導について 進路指導に関してのポイントを上げる努力をしてほしい。また、面接回数目標数値が高いので、先生方の負担が大きいのではないかと考える。コロナ禍での受験の影響についても教えてもらいたい。</p> <p>保健・安全管理について コロナの影響が長引いており、特に3年生について気になっている。コロナに対しての不安が皆勤率の低下につながっているのではないかと心配している。</p> <p>図書活動について 図書館の本の借り出しポイントが例年よりも低い。生徒のニーズに応じた本の購入など、図書の充実と図書館環境の整備を見直し、高校生の要望に応えられるようにしてはどうだろうか。</p> <p>学校運営について コロナ禍で様々な制限がある中、目標達成に向けて苦労されたと思う。コロナの状況に終わりが見えない現在、生徒同士や生徒と教職員との関係性が希薄にならないことを願う。</p>	<p>家庭学習時間調査の結果から問題点を早期に把握し面談に生かすことで苦手科目の確認を行う。また、学習傾向の過年度比較やクラス間の比較を提示するなど、根拠を示しながら家庭学習時間の充実に向けた指導が行われるようにする。</p> <p>高い数値目標であるが、面接を繰り返すことできめ細かな進路指導につながっているため、継続したい。コロナ禍に加えて共通テストの難化にも関わらず、受験の傾向について大きな変化は見られない。</p> <p>教育相談課と連携して心のケアを継続して行ってきた。3か年皆勤者数は昨年度よりも多くなっており、特に問題はなかった。</p> <p>図書購入に関して教職員、生徒から希望を募り、図書館だよりや図書館のレイアウト、ポップなどを見直し、図書館利用・読書活動の充実に向けた広報活動を一層充実させる。</p> <p>ポートルースこそ中止にしたが、それ以外については、規模を縮小したり、オンラインを取り入れたりして工夫して行った。今後も地域の期待に応えられるように安全・安心な教育活動を展開する。</p>